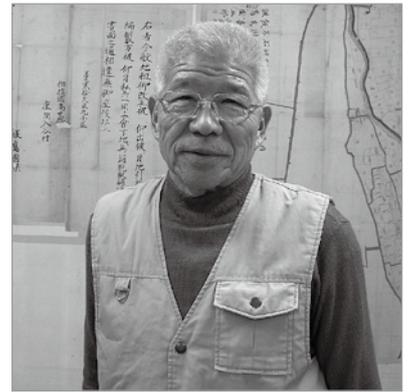


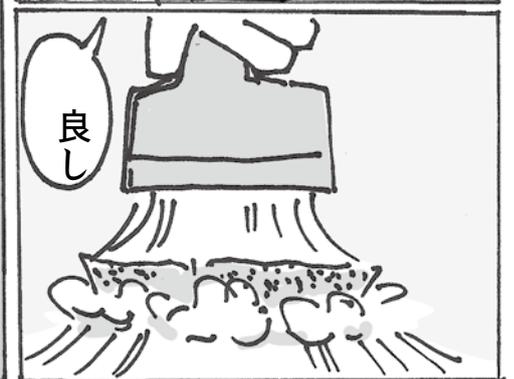
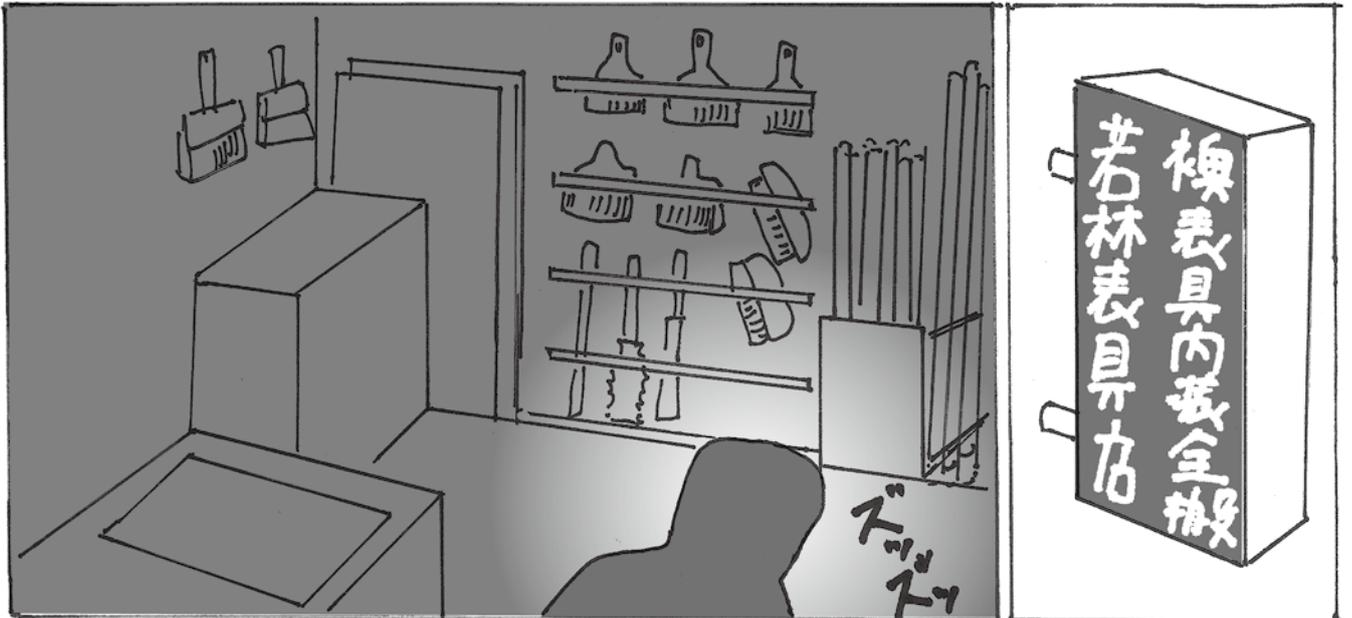
ひょうぐし
表具師

平成
13年度
認定

わかばやし ちかお
若林 近男 さん



掛け軸、屏風、書、絵など、貴重な作品の修理・修復など、
技術と経験を要する仕事に、素晴らしい技を発揮する、匠。



裏打ちとは？

書や絵等を
補強する事
今回は古地図

まず表面の
図や文字の上に
スプレーを吹き付け
色止め



※絵の具や墨を
定着させる

裏返して霧吹きで
水分をふくませる



※紙を柔らかく
する薬剤入り

裏打ち専用のシユロバケで
水分を均等に完全に伸ばす

※紙の折り目をまんべんなく
伸ばしていく



「京表糊」(裏打ち専用糊)を
使って裏打ち専用の紙を貼る

古地図

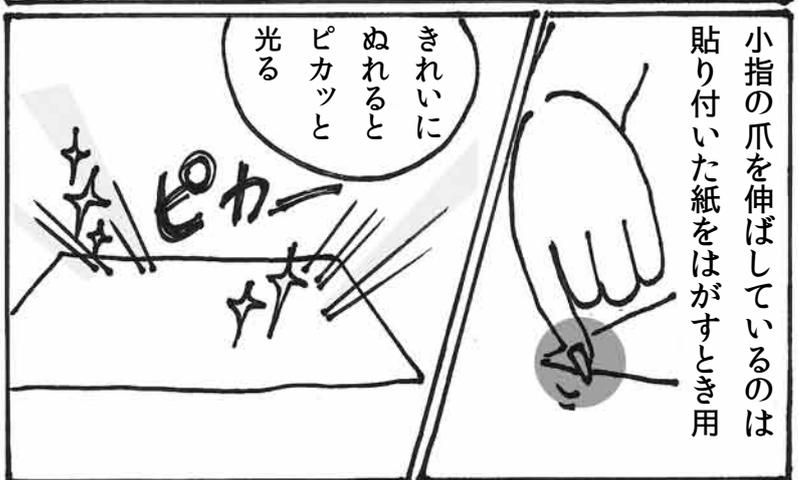
裏打ち専用
の紙

いったん
貼り付けた
重しのための
プラ板



小指の爪を伸ばしているのは
貼り付いた紙をはがすとき用

きれいに
ぬれると
ピカッと
光る



別の板に貼り込んで自然乾燥させたら

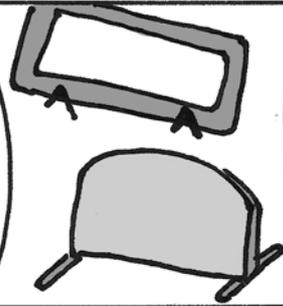
※まわり糊をつけて
貼り込む

完成



表具師とは？

掛け軸や額、襖、
屏風を仕立てる
職人の事



仏教の伝来とともに
日本に伝わった
奈良、平安時代から
続く歴史ある職業

を本に
経書



用画
の仏



掛け軸、襖など
表装全てに自信がある

なかでも修理・修復には
神経を使うと自負してる

それは

経師屋に弟子入りして
12年住み込み



こんなもの
納められるか！

30歳で独立、
その後も常に研究、工夫を重ね
この道60年近くになるからね

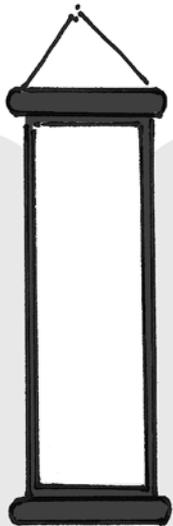
糊の調合でも
まだまだやる事が
ある



だから県の作品展にも
積極的に参加して
技術を磨いている



だから難しい技術のいる
掛け軸も自信を持てる



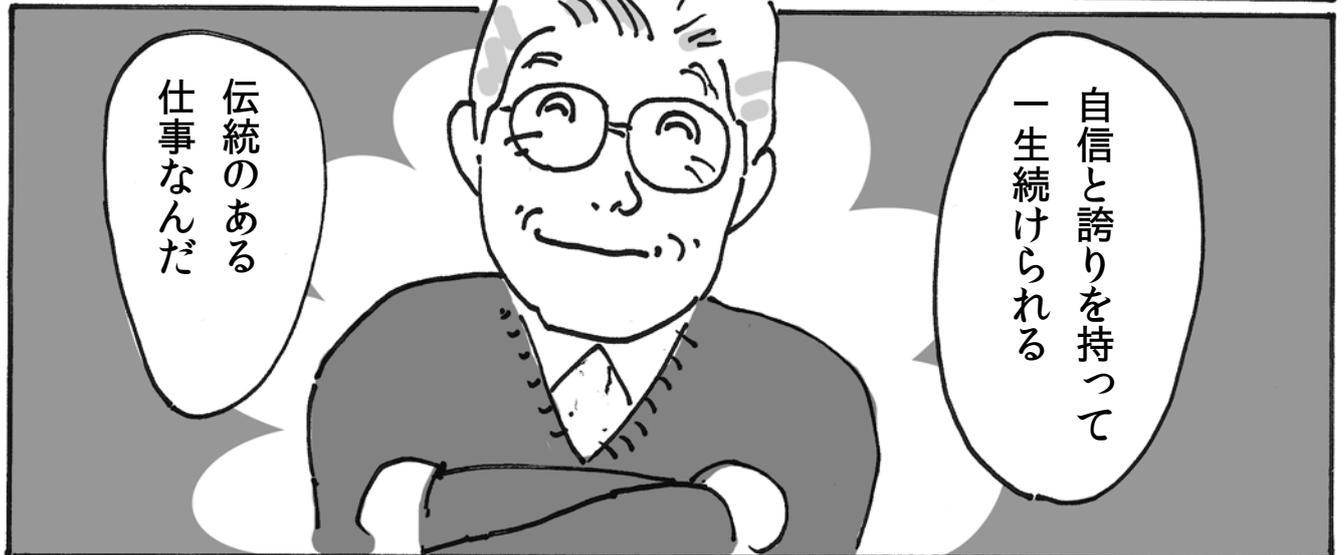
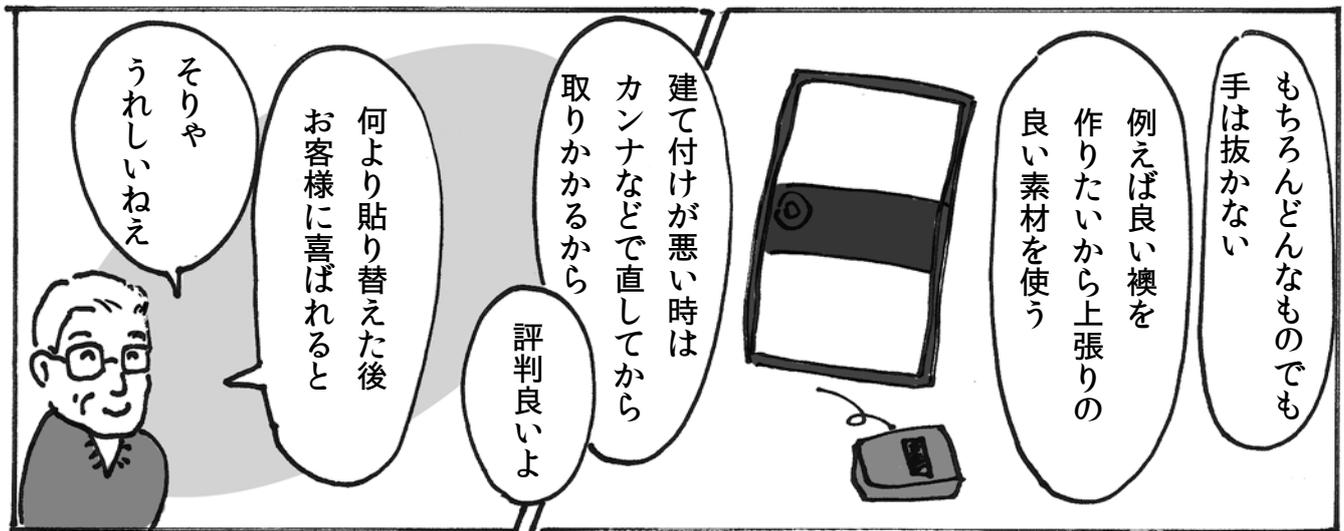
※何十年もの古い物、ボロボロのものも
あります

お陰で県内の
さまざまなお店から
依頼が来るんだ



高級で価値の高い
書や屏風の修復もね

神経を使うが
やりがいを感じるよ



若林表具店

古い作品の修理・修復から、現代のクロス貼りまで、熟練した技能を発揮します。正確かつ繊細な仕事、完成度の高い出来映えで、お客様から厚い信頼をいただいております。

- 住所／川崎市幸区古市場 2-89
- 電話／044-522-8933
- ファックス／044-555-7876
- 営業時間／午前 8 時～午後 6 時
- 休み／日曜、祝日